

圓藏寺新聞

大銀杏

おいちよう

平成 31 年 4 月 8 日
春 創刊号 第 1 号
発行：日蓮宗圓藏寺

〒330-0054
さいたま市浦和区東岸町 1-29
電話 048-882-2835
FAX 048-883-9848
ホームページ
浦和 圓藏寺 検索

お寺のあり方を想う

住職 齋藤義晃

こんにちは。皆様方におかれましては、ご清祥にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

改めまして、長久山圓藏寺第三十七代住職の齋藤義晃でございます。この度、檀家・信徒様をはじめ、普段から参拝なさる方、近隣の方々、裏でお寺を支えて下さっている方等、お寺にご縁のあるあらゆる方々に向けて、お寺に関するいろいろな事を知って頂きたく、『大銀杏』というタイトルの新聞を発刊する運びとなりました。と堅いご挨拶はこの辺にしておいて…、大見得を切ったものの、手作り故に途中息切れでペーstadownしてしまいかもしれま



圓藏寺本堂

せんが、敢えて自分たちを崖っぷちに追い込みつつも、多くの方々を巻き添えにしなが(笑)、まったりと気楽に読める

紙面にしていければ…、と思っております。どうか、おらかな眼で見守っていただけますと有り難いです。

まず始めにお寺とは、

そもそもいったいどんな場所でしょうか？皆さん分かっているようで、具体的なイメージが湧いてこないですね。お葬式や法事をする場所？それも確かに含まれますが、敢えてザツクリと言うならば…、遠いインドの地から伝わってきたお釈迦さま(正式には釈迦牟尼世尊)の教え(仏教)を周

りのより大勢の皆さんたちに弘めるために、教えを信じる人たちが集まってその教えをお互いに確かめ合い話し合うために造られた建物(伽藍(主に本堂))とその辺りの敷地をひとくくりにしてお寺と呼んでおります。

すでに「葬式仏教」とお寺が批判されて久しく経っております。

そして現在、心の拠りどころがなく苦しんでいる人たちが溢れかえっている混乱の世の中が続いております。ですから、こんな時代だからこそ真の意味でお寺が

必要とされるか否か試練のときが訪れたのではないかと私は考えております。

偉そうなことを申し上げるつもりはございません。皆さま方のお力を拝借しつつ、一緒に仏教を発信する殿堂として圓藏寺を護持していけますよう、微力を尽くしたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

圓藏寺新聞「大銀杏」 発刊に寄せて



日蓮大聖人は檀信徒の方々とお手紙を通して多くの交流をされました。そして、仏さまの教えと大聖人の優しさに溢れたその手紙によって、人々は安心感を抱き、信仰のあり方を知りました。大聖人のようにとはおこがましいですが、その姿に憧れ、お寺からの風を少しでも皆様の元へと届けたいと思い、新聞の発刊に至りました。

新聞の名前を付けようと思いつき、「圓藏寺らしさってなんだろう」と考えた時、お寺の事をよく知らない近所の方でも真っ先に出てくるのは、大きな大きなイチヨウの木である事を思い出しました。「大銀杏」のように圓藏寺が皆様とともに大きく繁栄していくように願いを込めて。

副住職・加藤良海

奉納

有難うございます。
大切に使用させていただきます。

【寺務所机】 【本堂用ブランケット】
三友工務店様 小野利恵子様
(寺ヨガ講師)



【境内 VR 撮影】

オウルウェイズ 森下知以様

お寺のホームページにて、境内を 360 度ご参拝いただけるようになりました。
浦和圓藏寺 で検索ください。

【鬼子母神堂礼盤】

川口妙蔵寺様

祈禱の際、導師が座る礼盤が新しくなりました。



仏縁



円藏寺檀家筆頭総代

おぐらとしお
小倉利夫様

円藏寺に縁ある方々をご紹介します 1

私が総代を勤めさせて頂いたとき、四十年以上が経ちました。ここでは、そこで出会った歴代の住職との思い出を記したいと思います。

三十五世上人は温厚な方で民生委員としても活躍。叙勲式にお招きいただいたのは良い思い出です。三十六世の先代住職とは、同年ということもあり大変親しくさせて頂きました。年四回の行事等を定着させ、お寺と檀信徒との融和を確立くださいました。現住職は、先代の跡を継ぎ、平成七年に新任職承認式が盛大に行われ、現在に至ります。今後とも皆様とともに円藏寺を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

記念すべき第一回目は、檀信徒の先頭に立ってお寺を支えてくださっている檀家筆頭総代の小倉様です。

行事報告



第十回「開運落語会」

平成三十年十二月十一日

「開運落語会」は、立川談志師匠の弟子である立川談慶師匠とご縁をいただき隔月で続けてまいりました。今回、記念の第十回目を迎え、兄弟子でもある立川志らく師匠を特別ゲストにお招きして開催されました。普段は静かな本堂が、檀信徒含む七十七名の参加者とともに笑いの渦に包まれます。落語の前には、僧侶四名によって特別祈禱も行われました。普段お寺に訪れない方も多く訪れ、皆さん笑顔で帰られた姿が印象的でした。



立川志らく師匠(上)・立川談慶師匠(下)

春季彼岸会大法要

三月二十一日



春の訪れを感じながら、本年も彼岸の法要が厳修されました。団扇太鼓を参拝者とともに叩き、檀信徒の皆様先祖供養を致しました。ご参拝有難うございました。

節分会星祭り

二月三日

昨年より復活した円藏寺の節分会が、本年も賑やかに開催されました。本堂前に行われた福豆まきの際には、近隣の子ども達も多く訪れ、たくさんのお福を持ち帰っていただきました。



では、参加者の方々の無病息災を願い、加持祈禱。法要後、お申込まれた木札・星祭りが授けられました。

冬の寺子屋

「大かるた大会」

一月四日



「埼玉県日蓮宗青年会」主催の冬の寺子屋が、円藏寺を会場に行われました。かるた大会・香り袋作り・紙芝居・お坊さんとティータイム・新春祈禱など、盛りだくさんの内容に、約四十名の参加者も大満足の間際だったようです。「是非来年もやってください」との嬉しい声もたくさんいただきました。



参加者の方々とともに笑顔の一枚。

本年が年回忌にあたっていませんか？

※年回忌にあたっていなくても、毎年巡ってくる祥月命日には卒塔婆を建てて供養しましょう。

年回忌	寂年号
平成一周年回忌	平成三十年
三周年回忌	平成二十九年
七周年回忌	平成二十五年
十三周年回忌	平成十九年
十七周年回忌	平成十五年
二十三周年回忌	平成九年
二十七周年回忌	平成五年
三十三周年回忌	昭和六十二年
三十七周年回忌	昭和五十八年
五十周年回忌	昭和四十五年
百周年回忌	大正九年

【ご法事について】

ご先祖や父母、在りし日の故人を想い、成仏を願って報恩感謝を捧げます。檀信徒以外の方でも当山にて法事を行えます。お申し込みから当日までの流れを見てみましょう。

※ご不明点・ご質問はお気軽にお問い合わせください。



まずはお寺にお電話を☎(048-882-2835)

〈お伝えいただく内容〉

- ① 法要の希望日時
十時～ 十一時～
十二時～ 十三時～
- ② 法要の種類
・一周忌、七回忌など
- ③ 供物・生花の代行有無
・本堂供物(六千円)
・本堂生花(五千円)
・墓参用生花(二千元)
- ④ ご参拝人数
・おおよその人数
- ⑤ 卒塔婆のお申し込み
・一基、四千円

※④⑤に関しては、法要の日時決定後、改めてのお知らせでも大丈夫です。

○法要時間は約40~50分。埋葬時…お墓へのご移動時間、墓前経(約10分)のお時間も考慮ください。

○ご命日を過ぎないようにご法事を行いましょう。



○本堂は全席イス席。

当日の持ち物は？

- 法要の約三十分前を目安にお越しください。客殿にてお待ちいただき、準備が整いましたら本堂へのご移動いただきます。
- 位牌
・四十九日忌の場合は、白木位牌と本位牌
- 写真
・三回忌以降は小さなお写真でも大丈夫です。
- 供物・生花
・代行の方はお寺が手配。
- 墓参用線香
・お寺でも販売あり。

○字の間違い防止のため、来寺・メール・手紙・Fax(048-883-9848)等にてお知らせください。
○読み上げ順・氏名のフリガナを添えて頂くと助かります。



お寺で会食も出来るの？

◎法要後に円蔵寺客殿をご利用いただき、会食をすることもできます。ご希望の方は、事前に寺務所までご相談ください。

- ・会場費 一万円
- ・五名様以上、計二万円より申込可能
- ・約三十名まで

☆「うらわ高砂」
埼玉の食材を多く使った彩懐石料理をお楽しみいただけます。パンフレットをご要望の方はお声掛けください。また、お寺のホームページからも内容をご確認いただけます。(一人四千円、別途配送簡易配膳料がかかります)



Q. 法事はしたいんだけど、足が悪くて…何か方法はありますか？

A. 基本的には本堂での法事となりますが、そんな場合には僧侶がご自宅にお伺いして、仏壇の前でご回向することも出来ます。ご相談下さい。



行事案内



☆法務の関係で急遽日程を変更する場合がございます。詳細はホームページをご覧ください。ただくか、お寺までお問い合わせください。

〈写経会〉

四月十一日(木) 五月二十一日(火)
六月十八日(火) 七月九日(火)
十時〜十一時四十分頃

法華經を写写する会です。初めての方も安心してご参加いただけます。お経の一字一字が仏様。日常を離れ、静かな空間でご自身の中にいる仏様と向き合います。

- 参加費 基本無料
- 申込不要
- ※書き終えた写経をお寺へ納める方は、納経料(千円)をお納めください。
- ※二回目以降継続される方は写経セット(四千円)をご購入ください。

〈寺ヨガ〉

四月五日(金) 二十日(土)
五月十日(金) 二十日(月)
六月七日(金) 二十一日(金)
七月五日(金) 十九日(金)
十時〜十一時頃



初心者のためのかんたんヨガ教室です。

- 参加費 七百元
- 申込不要
- 持ち物 ヨガマット または、バスタオル

〈開運落語会〉

第十二回 四月八日(月) 十八時〜
第十三回 六月二十二日(土) 十四時〜

立川流真打・立川談慶師匠をお迎えし、笑いあり涙ありの落語会。落語の前には加持祈禱を行い、皆様の開運厄除を御祈願いたします。

- 参加費 二千元
- 申込不要

〈オレンジカフェ〉

四月二十四日(水) 五月二十九日(水)
六月二十六日(水) 七月三十一日(水)
十三時半〜十五時半 ◎毎月最終水曜日

簡単な写経体験・法話も楽しめる気軽なお寺のお茶会です。

- 毎月変わるトピックス(紙芝居・振り込め詐欺予防劇・琵琶歌語りなど)も好評です。(地域包括支援センター尚和園と共催)
- 参加費 三百円
- 申込不要

◎良海の出張法話

当山副住職・加藤良海が皆様の職場・介護施設などにお邪魔して仏様のお話をいたします。修行の話・写経体験・読経体験など。ご要望、お申込みは寺務所までお気軽にお問い合わせください。

- これまで伺った場所・・・
- ・浦和カウンセリング研究所
- ・ロータリークラブ など



〈護持正法会〉 お経と法話の会

円藏寺では、かつて「護持正法会」という信行会があった事をご存知ですか？ 本年、お寺の核であり皆さまの憩いの場ともなるそんな信行会が新しい形で復活いたします。ご参加を心よりお待ちしております。(申込不要)

○日時 毎月八日 十時〜十一時半頃

※大法要の月はそこに準じます。

○内容 法話・お経・お茶会など

○対象 円藏寺檀信徒・一般の方

○参加費 千円(布施、お茶代として)

※詳細は別紙「護持正法会」のご案内をご覧ください。



★7/8 発足の前に…〈お経の勉強会〉開催!!

○正式な発足は7月8日(中興開山日寛上人御命日)を予定しています。その発足を前に「どんな会なの？私にもお経が読めるの？」という皆様の不安にお答えする〈お経の勉強会〉を開催致します。ご興味のある方は、是非お気軽にお越しください。

- ①4/27(土)14時〜16時
- ②5/11(土)14時〜16時
- ③5/28(火)10時〜12時
- ④6/9(日)10時〜12時
- ⑤6/25(火)10時〜12時

◎申込不要 ◎全5回(全て別内容を予定) ◎持ち物…筆記具

◎参加費…無料 ◎対象…檀信徒、一般の方どなたでも

◎内容…お経の読み方、太鼓の叩き方、質問コーナー など

※お越しいただける回のみのご参加でも全く問題ありません。

「勉強会の参加=信行会の入会」ではございません。勉強会に不参加の場合でも問題なく信行会にご参加いただけますよう正式発足後も基本的なことから開催してまいります。ご安心ください。